

会 報

会費振込先 第一勧業銀行川崎支店東北大学ワンダーフォーゲルOB会
普通口座 (370-1881604)

立山一剣岳OB山行

26期 伊田浩之

96年秋、南八ヶ岳縦走を終えた26期の8人は、蓼科高原の「小斎の湯」につかっていた。みんな結構な筋肉痛。露天風呂のある高台まで歩くのはつらかったが、疲れが温泉に溶けていくよう。色づき始めた木々の間から蓼科湖が望める。

「来年の山行はどこにしようか」と伊田が声を上げた。「体力がある間に剣岳に行こうぜ」と応えたのは森。「それも良いなあ」と相槌が出る。「蟹の横這い、縦這いってきついんじゃないの?」「大丈夫、大丈夫。じゃあ来年は剣。決まりね」。森が、大きな目をくりっと見開いてきっぱり言う。いろいろ候補に上がるのだが、なぜか最後は森の一言で決まってしまう。不思議な存在感がある奴だ。かねてからの懸案だった「前後の代に声をかける」ことも一致。事務局の佐藤さんに頼み、会報に案内を載せていただいた。

日程は、「97年9月21日(土)、剣沢小屋に集合」という、恐るべきアバウトさである。だが、OB山行にはこれが一番というのが我が代の定説。休みの期間や体力はさまざまなので、細かく決めない方がいい。

関西組(いずれも26期)は、京都にいる平田の車に伊田と長谷川が同乗。富山側からアルペンルートに入るこことする。21日早朝、立山駅前に車を止める。朝一番のケーブルカーに乗ろうとする登山客があちらこちらにいる。さて我らも出発と、車に鍵を掛け、歩き始める。突然、サンダル履きの伊田が素っ頓狂な声を上げた。「あ、登山靴忘れた」。即座に、長谷川が「信じられねえ」と蔑む。「車の中に決まってんだろ。家に忘れる奴がいるかよ」。恥ずかしさを隠そうと、伊田の声が大きくなつた。

終点は、女人禁制の山に入った女僧が神の怒りにふれ、杉にされたとの伝説が残る「美女平」。バスに乗り換え、標高2450mの室堂へ。曇り空の彼方に目指す剣が見え始める。格好良い山容だ。深田久弥がこう讀めるのもうなづける。

「まことに剣岳は、そんな昔から、それを仰ぐ人々の心を高揚する山である。何よりその風采の豪毅にして颯爽たる点である。日本アルプスの高峰にはそれぞれの風格があるけれど、一つの尖端を頂点として胸の透くようなスッキリした金字塔を作っているのは、この剣岳と甲斐駒ヶ岳ぐらいであろう」(日本百名山より)

室堂で水をポリタンクに詰めていると、長谷川がこそそ何かを買っている。聞けば、恥ずかしそうに「ポリがないので水筒を買った」と言う。

確かに売店には透明なプラスチックの容器が並んでいる。容量は1㍑程度か。黒ビニールの紐をはずせば、単なるペットボトルにしか見えない。押せばペコペコへこむ。それで、値段は700円。上には「日本最高位の名水をいれてってね」と、色とりどりのマジックで書かれた張り紙がある。「観光客だましたよなあ」と伊田は先ほどのお返しに出た。長谷川は「うるさい、うるさい」と、色白の顔を赤くする。「ウイスキーを捨て、その容器に水を入れようかとも考えたんだから」とも言う。まあ、そろそろからかうのも止めてやるか。ところが、バスターミナルの出口に向かう途中、ミネラルウォーターを売っているのを平田が目ざとく見つけた。値段は1㍑で300円。「こっちの方が良かったんじゃないの」。平田の口調は明るいけれどトゲだらけ。爆笑させてもらった。

立山三山の一つ、雄山(3003m)までは、コースタイム2時間20分。久しぶりの登りなので慎重に歩いたが、1時間20分で着いた。途中2回休んでいるのだから、ペースは上々だ。ガスが飛ぶと槍の穂も遠望でき、気持ちが良い。ただ気温は8度。さすがに風が冷たい。早々に出発。今日の最高峰・大汝山(3015m)を越え、別山へ。ここで伊田と平田は頂上を巻く道を。ガスの中、長谷川独りでピークを踏みに行った。道の合流点で長谷川を待つ間、日向ぼっこしゃれこむ。回りはガスなのに、日射しは強い不思議な天候だ。

分岐から剣山小屋まで、高度差300mを一気に下る。剣沢はガスにつつまれ、見通しがまったく利かないものの、雷鳥に出会えた。

紅葉のなか真っ直ぐな道下る

伊田が一年前から始めている下手な俳句をひねる。

と、ガスの中、岩に腰掛けている男性がこちらをしげしげと見ている。「東北大ワンゲルの方ですか?」。なんと、8期の三日月道夫さんとのこと。事前に問い合わせはあったものの、参加確定のご連絡がなかったので、嬉しい驚きとなった。ああ、やっぱりユニフォームを着ていて良かった。「でも、色は緑だけど、我々の頃のユニフォームとは変わっていますよ」と三日月さん。それで、肩のワッペンを一生懸命見ていたという。いやあ、藪ですり切れたワッペンで申し訳ない。

三日月さんは、称名平(980 m)から奥大日岳(2605 m)を越えて来たとか。さすが、百名山踏破(OB会報21号に詳報)だけのことはあると、感心させられる。

小屋到着は午後1時半。信州側から入った関東組(26期)の北村と森と再会した。今日既に剣ピストンを済ませたと言う。「昨日は剣御前小屋で泊まり、天気が良いから行っちゃった」と余裕の表情だ。「最初は一服剣までのつもりだったけど、すぐそこにピークが見えたからね。そうすると、ピークだと思ったら前剣でさあ」。うーん、相変わらず軽い。

「蟹の縄這い、横這いどうだった?」、「へっちゃら、へっちゃら」と森。「でもこいつ、梯子でぶつけて、梯子に血をつけてやんの」と、北村が大げさにからかう。「なら、明日は森の血搜しな」と笑いあった。

三日月さんと一緒に軽く酒盛り。やがて森川(26期)が到着。伊田と三日月さんが、テントで設営中のOB会事務局・佐藤さん夫妻(8期)とお会いでき、今回の山行の参加者9人がそろった。3人とも気さくな方で、話は大いに盛り上がった。

翌日は曇り空。佐藤さんのテントまで全員で行き、見え隠れする剣を背景に記念撮影する。昨日のうちに、剣登頂を終えた2人は、みくりが池温泉へ真っ直ぐ向かうため、小屋でしばらくくつろぐという。伊田・平田・長谷川・森川の4人は、天気が最後まで持つことを願いつつ午前6時40分に小屋を出発した。佐藤さん夫妻は、テントを撤収してからの出発だったが、7時40分、一服剣(2618 m)で早くも追いつかれてしまった。健脚である。三日月さんは、天気が回復しないと決めて、真っ直ぐ室堂に降りたそうだ。

以後、行動をともにさせてもらう。前剣までは、いやらしいガレ場の急登。ところどころの鎖場もなんなく越える。前剣からは、縄這い・横這いも良く見える。長谷川の単眼鏡で見るとかなりの岩場。平蔵谷は9月というのにかなりの雪渓を残す。佐藤さんは現役時代、この谷を下ったと言うが、にわかに信じがたい急傾斜である。

ガス飛んで大雪渓のありにけり

連休だけあって、蟹の縄這いの下は、10分程度待ち時間があった。途中、ガイドを連れた老紳士を抜いた。聞けば、大正生まれと言う。高度感はあるものの、スタンス・ホールドとともにがっちりしている岩場を越える。三年の夏合宿でパーティーを組んだ森川も相変わらず堅実に岩場をこなしている。剣山頂(2998 m)には午前10時に到着。Lを食べ、のんびりするが、頂上にいる30分の間、一度もガスは晴れなかった。

下りの蟹の横這いは、最初の一歩に度胸がいるものの、なんなく通過する。池の平、仙人池から黒部に向かう佐藤さんたちとは、一服剣下の分岐で別れた。ガスの中、単調な道をひたすら歩いて別山乗越へ。ところどころにコケモモが実る。すぐ口に入れる奴が誰かはあえて書かない。

雷鳥坂の急な下り(高度差400 m)は、コースタイム1時間20分を、33分で駆け下りた。下りは、まだまだ昔のスピードである。だが、現役時代+100キロの体重では、登りがいけない。雷鳥平からみくりが池温泉までの登りは、足をひきずる感じになった。

清潔な造りのみくりが池温泉は地獄谷の湯をひく。少し白濁しており、いい湯加減だった。室堂のコインロッカーに預けてあった純米大吟醸の一升瓶は、森と北村が回収済み。宿の生ビールや追加料理を囲んでの、二晩続きたの愉快な宴会となった。

平成10年のOB山行

目的の山：雨飾山(1963 m) 越後の名山で、静かな山旅を期待

日 程：9月12日(土)、13日(日)、14日(平日)、15日(敬老の日)の連休

集 中：14日に雨飾山に登山、14日夜に小谷温泉の宿に宿泊

細部の問い合わせ：〒790 松山市萱町6-147-4 スプリングバイ101 伊田浩之

(Tel: 089-923-4473、電子メール: ida@ehime-np.co.jp)

T UWV第7期 卒業30周年記念同期会に寄せて

7期 上田 俊朗

卒業30周年の同期会を、平成9年11月8日に、山形県上山温泉でひらくこととなりました。何名の人達に会えるか今から楽しみであります。平成元年には20周年の同期会を宮城蔵王山麓・遠刈田温泉で開きました。

(中 略)

「そんなにお前はなぜ嘆く。草のしとねに寝転んで……」

若い頃は“何とまあ、悠長な歌詞だな”と思っていたが、今では“そんな風に時間を過ごしたいな”と感じられます。がむしゃらに行動できた時代も懐かしいですが、年齢に伴う心境の変化は恐ろしいものです。

さて、そんな“違いが判る男と女”になってくると、自分たちの楽しみ以外のものに眼を向けるのは当然と言えるでしょう。今の私達にとってT UWVは遠い過去であって、現実的なつながりは何一つありません。周年行事に参加して一夜を過ごして、“また次、5年後ネ”と別れるだけではちょっと足りないような気がします。私達が30年間持ち続けられたT UWVの想い出を現役の後輩達におすそ分けできないものでしょうか。今回の30周年の会合でそれについて話し合ってみたいと思っております。

(事務局の独り言：酒を飲み過ぎて何を話したか忘れてしまったのでは？それより、山に来ませんか。
現役ではないが、後輩が雨飾山で待っています。山がダメなら、小谷温泉だけでも)

想い出 ほろぼろ

7期 真尾 征雄

早いもので卒業してから30年になる。鹿島建設に入社して25年間は、営業所も含めてだが建設現場に直接携わってきた。現場を担当していると、工事の工程と四季の変化とがミックスして、様々な行事が行われる。現場の近くに引っ越しをするので、その周辺の観光地に足を運び、美味しい名産品を食べることも出来た。品質・安全・工程を確保し、かつ金を稼ぐにはどうしたら良いか、あの手この手を考えてそれを試みるのは楽しいものである。そして、自分が造った物が姿を表してくるのを見るのは、土木屋冥利に尽きるというものである。

ここ5年間は支店管理部門に籍をおき、いわゆるサラリーマン生活をしている。けっして今の仕事が嫌だとか、変わりたいというのではない。それなりに面白く、自分を生かせる仕事だと思っている。ただ、生活に以前のような変化がなく、そのくせ一日が、一月が、一年が瞬く間に過ぎていく。お客様との打ち合わせ、社内の会議、社内の人達との会食、会社仲間とのゴルフ。気になれば休日にも出勤する、どっぷり首まで漬かった会社人間になってしまった。

最近、記憶に残る度合いが落ちてきた。昨日の宴会の出席者や話の内容や料理等が？。これはボケの始まりだろうか。ところが2年前に中国に行ってきた時のことは鮮明に覚えているのである。重慶で食べた四川料理も、長江を船で下った時に見た三峡の景色も、夜行列車の中で三峡ダムの是非を夜遅くまで論じたことも。記憶に残る度合いとは、その時如何に一生懸命見たり、聞いたり、話したり、食べたりしたかによるのではないだろうか。

女峰山麓での満天の星空、甲武信岳の麓の唐松の紅葉、平ヶ岳の空を焦がす夕焼け、船形山の新緑のブナ林、トムラウシのお花畠と鳴き兔。今でも鮮明に記憶に残っているのは、一生懸命に見ていたからではないだろうか。

10年前に蔵王のペンションでやった20周年目の同期会のことを、よく覚えている。仙台駅で会った時は一瞬誰だっと思ったのに、各々の挨拶を聞くうちに、学生時代にタイムスリップしたようで、時の経つのも忘れてしまった。こんど30周年の同期会が開かれる。卒業以来初めて会う人も来るかもしれない会社人間から開放されて、一生懸命見たり、聞いたり、話したり、食べたりしてこよう。新しい想い出を残すために。

(またまた事務局の独り言：この秋、18年離れている26期の方々と剣に登った。これだけ離れていてもワングルの臭いは変わらない。なぜか昔から知っているような気になってしまう。同期だけでなく、みんなと会いましょう。「雨飾山」、26期の方が誘わなければ、多分私は一生登ることはなかったでしょう)

●故生駒勉君を悼む

平成9年12月1日 後藤龍男（39年卒）

10月はじめ、出張先のブリュッセルから帰宅直後、家内から「大変なことが起きた。生駒さんが亡くなった」と告げられた。前日の告別式には松木、岡、小俣と連れだって家内が出てくれたという。単身赴任先での突然の不幸だったので、仲間にもなかなかうまく連絡が付かなかったらしい。気だけは万年青年みたいなつもりでいても、年とれば誰かいつかはと思っていたが、こんなに早くその時期が来るとは思いつかず、言葉もなかった。

ちょうど60年安保の年に大学に入った。騒然とした雰囲気のキャンパスで、生駒やほかの仲間達と出会った。以来40年近くが過ぎたことになる。連日のストライキで休講続きなどをいいことに、川内の部室に入り浸り、山に出かけた。生駒は現役入学で物理的な年齢は仲間のうち一番若かったが、当時から妙に分別くさく大人びたところがあった。彼の世知に長けた言動は、ちょうど大人の入り口にさしかかった年代には魅力的で、仲間内で一目置かれる雰囲気があった。入部して初めて、合宿で二口峠に行ったとき、それまで山の経験など一度もなかった生駒はひどい靴擦れをおこした。それでも青い顔をしながら、痛いともいわざがに股で歩き通した。経験者なら誰でも知っているが、痛くないわけがない。悲壯なやせ我慢なのだが、痛いなどと口が曲がっても言わるのが“生駒式美学”であった。

3年生の秋、学期末試験の後、松木と3人で鳥海山に登ったことがある。下山中、紅葉があまりに見事だったので、私がたびたび感嘆を口にすると、「お前はまったくどうしようもない感激性だな」と馬鹿にして取り合わない。そのくせ酒田の駅前旅館で、枕を並べて寝付くまで、見かけによらずナイーブな人生論を、眠くなるまで仕掛けてきたのは彼の方だったことを今でもよく覚えている。

仲間が新婚旅行から帰った直後、その新居に押し掛け、一晩徹夜麻雀をするという馬鹿なルールがあった。大抵は新婚早々の奥さんを困らせないよう事前通告したが、彼は意図的にそれをせず、我々悪童仲間をいきなり予告も無しに新居に連れ込んだ。翌朝、朝食の用意を言いつけられて、何の準備もなく困り果てている奥さんに、「あり合わせでいいぞ」などと偉そうに亭主風を吹かせてみせる。この生駒式美学に対し、奥さんから「私、魔法使いじゃありませんから」とスマートに逆襲されていたのを覚えている。

仲間で北八ヶ岳に伝蔵荘を作ったのは、皆子供が産まれたばかりの安月給の頃だった。安普請のため、ペランダは手すりだけで、下の横木をつけられなかった。よちよち歩きの子供が落ちないかと心配すると、生駒は「ここから落ちて死ぬような子は、どうせいつか何処かで死ぬ。心配しても始まらない」と言う。結局横木無しのまま30年たったが、事故にあった子供は一人もいない。親馬鹿をクールに突き放した彼自身も、一流の達観からくる不養生なところが多分にあった。昔からあまり体を大事にする方ではなかった。その彼が、仲間内で一番酒に弱いくせに、仕事柄単身赴任先では飲めぬ酒を飲んで頑張ったのだろう。おそらく彼のことだから、少しくらい体調が悪くても、人間ドックなど馬鹿にして近寄らず、いたわらなかつたのだろう。

昭和30年代の古き良き仙台の街、二口峠や東北の山々、川内の米軍兵舎跡のきたないTUWVの部室、幾たびかの山行、伝蔵荘、その他諸々の懐かしい記憶につながる数少ない友を一人失った。　合掌。

禄弥先生 無事退院

10月、元部長をされていた鈴木禄弥先生ご夫妻は、講演のため中国に招待されました。その折り、三峡を訪れましたが、旅先で体調を崩されました。応急処置をしてどうにか講演は乗り切ったものの、11月初め、帰国してすぐ横浜の長津田厚生総合病院で手術をしました。その後順調に回復され、11月下旬無事退院されました。退院おめでとうございます。ご健康に一層留意され、いつまでもご活躍下さい。

さて、今回はOBの皆様に悲しいお知らせをしなければなりません。我々の同期（昭和39年卒）・生駒 勉君56才の訃報です。彼のあまりにも突然な御逝去の報に接し、我々も言葉がありませんでした。

働き盛りの企業戦士の壮絶な戦死であったのかも知れません。

優しい奥様と美しい二人のお嬢様、それに多数の人々に見守られたながら、美しい沢山の花にかこまれて、「かの国」へ旅立ってしまいました。

彼のご冥福をお祈り申し上げます。合掌

教会で牧師様の言葉を聞きながら、遙か昔の仙台時代のこと、テントの中のこと、合宿やコンペのこと等々を思い出しておりました。

さて、ここで提案なのですが、我々OB本人の場合、「東北大学ワンダーフォーゲル部OB会」として「弔電」と「生花」を用意してはいかがでしょうか。生駒君の葬儀に参列しながら、ふと考えました。

39年卒 岡 好宗

- ⑥事務局
提案から
1). 本人の場合、OB会として「弔電」と「生花」を用意
2). 配偶者の場合、「弔電」を用意。
3). 1)、2)とも同期の人々が相談の上対応
（事務局では対応が間に合わない）
4). 費用は後日事務局に請求する。

以上でいかがでしょうか？ 特に異論がなければ”
ご意見は事務局へ。 実施させていただきます。
Eメール： sato.02413@april.jgc.co.jp

年のせいか体がさぼるようになってきました。

今年こそ山行を再開しようと張り切っていたのに、
仕事が変わったり、町内会の役員だとかで
結局ほとんど活動できませんでした。

スキーが2回と八ヶ岳の麓のプレハブ山荘に荷物を運搬したついでに
時間をかけて山を眺めてきたくらいです。

仙台へ教授の最終講義を聴きに行くついでに滑ってきました。
蔵王の南、戸川幸夫が新聞記者をしていた時、マタギの里として紹介した
七ヶ宿にスキー場があるというので行ってみました。
あの、懐かしい番城山の南側、山形の赤湯温泉（？）に抜ける街道を
はさんだ向かい側の低い山の北斜面がゲレンデでした。
上の方向の急斜面の雪は既に消え、べたべたの重たい雪でしたが
下手なりに楽しむことが出来ました。
遠くに南蔵王から番城への山並みが白く輝いていました。

帰りに部室によってみました。相変わらずに汚さでしたが、
その部室も新しい建物に移ったとか。

夏の終わりに、八ヶ岳の奥蓼科温泉入口の村のプレハブ住宅に
家財道具の運搬で行きました。

夕方は村のはずれの公園のんびりと天狗岳を大きな紙にスケッチして、
夜は白樺湖の方までそばを食いに行き、翌日は奥蓼科の温泉で。。。
帰りは近所からもらった野菜をいっぱい積んで戻りました。

9月はお誘いを受けたのですがちょうど出張と重なり、
参加できませんでした。少しはトレーニングをしておかなければと
暑いさなか、週末に軽く走り込んでいたので残念です。

来年こそ、もう少し動きたいものです。
一人だとなかなか最初の一歩が踏み出せないので、相棒を捜すことにします。

昭40年卒 小原佑一

昨年10月からリストラで希望退職して
自由の身になりましたが、今年7月に新しい
仕事についてます。やはり仕事としていた
方がいいと悟った一年でした。横山雄一郎
（41年卒）

皆元気ですか
ジョンの稿が終り
今度シンガホールへ移ります
こちらに来ます
便急下さい。

京野（8期
44年卒）
TEL: 65-235-2434

いかがお過ごじでしようか。近況報告ですが、昨年(平8)の

3月に、29期の安宅氏と30期の水戸穂君の3人で、火打山スキーに行つて以来、泊まり山行はしていません。仕事、

都合上、夏にはあまり山に行けず、秋になつてから日帰りで近くの山に行つています。同期の皆と逢い、いまに独身で身軽なので、自分の間、気楽に山登りを続けるつもりです。

詳細は、私あてに fax で条件等を連絡してくれる様です。
西川さんの趣味の延長でやるのも良いですが、TUWVのOB会となると、それなりの責任もあるし、楽しさと苦しさが同居して.....、外部のプロにまかせるのも一つの案だと思います。

今年のOB会で、TUWVのOB会もインターネットでホームページを持つては....。とのお話がありました。

最近、TUWV、OBの西川君が、彼の個人で開設しているホームページのサブドレクトリにTUWVのローカルな集まりの写真を掲載しました。

彼とはOB会のホームページの件を、以前(OB会の直後、今年の2月ころ)話しましたが、そのままアクションをとらず終わっていました。

彼は、個人のホームページも持つてゐるし、TUWVのホームページ開設には一肌ぬいでくれそうです。但し、お金ながらむので、勝手なことはできません。

そんな訳で、今回、御連絡することとなりました。

西川君によると、サーバの借用が2~3万円、通信費用として年間1万円くらいかかるみたいです。

先日、ホームページの管理をやってる小さな会社と接点があり、話を聞きました。その会社は、年商5億円程度、EWSやPCのハード、ソフトを扱っています。シリコンバレーにもオフィスがあり、結構しっかりとした会社です。本社は川崎(新百合丘)です。私も個人的に約5年以上つきあいがあります。

ホームページの管理を全面的にまかせて、5,000円/月で年間6万円。「結構高いね!!」と話したら、「まあ、半額くらいにはなるかな....?」のことです。

(どういった価格設定なのか、やや疑問ですが....。)

西川さんによると、西川さんの趣味の延長でやるのも良いですが、TUWVのOB会となると、それなりの責任もあるし、楽しさと苦しさが同居して.....、外部のプロにまかせるのも一つの案だと思います。

私自身、ホームページは作った経験がなく、写真からの画像の取り込み等本格的にやるのなら、面倒かなと思つたりします。

外部の業者にまかせるのは、いかがでしょうか?

コメントお待ちしています。年間6万円は高いかな? 3万円くらいならOK?

ひとまず西川さんのサブドレクトリのホームページで走りだし、OBの反響があればプロにまかせるとか....。色々と作戦考えられますが....。
どうでしょうか?

→新年会で木目談しましょ(事務局)

マイクロ波管(事)基礎開発部 利根川 敏 (58年卒)
tel: 0427-71-2777 (職場) 044-788-7728 (自宅)
fax: 0427-71-4283 (職場)
E-mail: GWT00287@biglobe.ne.jp

ご意見は事務局まで

sato_02413@apr.jgc.co.jp

毎年OB会新年会に本を持って
行く売りつけ、ヒンシュクをかかっている
のは私です。今年は翻訳じゃ
なくて、女6人で『男たらし諺山』という
恐ろしげな本を書いてしまいました。
12月10日に平凡社から発売です。
子どもへの教育投資もそろそろ終わり、
これからまた遊ぶぞ!と意気は盛
ですが、パソコン前に坐つて毎日で
体が衰えがい配される今日こひ負
てす。」 48年卒 藤田真利子

佐藤雅俊
→ 30期

5年前より1年先輩の水上兄に誘われて中年の山登りを再開し、4年前に勤続*年の特別休暇をもらって20数年ぶりにネパールをトレッキングしてきました。ヒマラヤの山、山里の素朴さはやはり素晴らしいのですが、カトマンズの排ガスには大変残念な思いをしました。昔はリキシャといって、人力でしたが、今は懐かしいミゼットタイプの小型車の氾濫。一步山に入れば山道しかないのですが。

又行きたいな!なんて思いながら、最近は年2、3度の山行を楽しんでいます。今年は残雪豊富な春の飯豊、山小屋も綺麗になりましたね。夏は唐松から白馬、朝日を目指したのですが、天気悪く、途中鎧温泉から下山。秋は中央アルプスの駒ヶ岳から空木岳縦走、10月10日というのに初雪にあいました。普段の運動不足がたり、膝を引きずり下山。当分静養です。

普段は仕事の合間に10坪程度の農園で野菜を作っています。完全無農薬、生ごみ有機肥料。今はキャベツ、ブロッコリーの収穫を楽しんでいます。

S 45年卒 石野

東北大学祭（10/31～11/3）に行ったついでに、新しい部室を覗いてきました。7月の新サークル棟への移転にともない、引っ越ししたので、以前のサークル棟A棟があった場所は自転車置き場となっていました。

新サークル棟の場所は生協の裏側。鉄筋コンクリート4階建てで、中庭のある造りとなっています。入居しているサークル数はなんと90。当局といろいろ交渉があったようですが、結局、24時間使用可能となったようです。

ワンゲルの部室があるのは2階。大きさは以前よりやや広いぐらいですが、正方形に近くなった分だけ、使いやすそうでした。部員がだれもいなかったので、詳細は不明ですが、部室内にザイル等が掛けられているところを見ると、倉庫は取れなかつたのかもしれません。

光りが良くてはいるので明るい雰囲気。片方の壁には、山渓などの雑誌や資料がずらり。張り紙で連絡を取り合っているのは、以前と同じらしく、冬山関係の張り紙が目立ちました。また、クライム練習用のボードを作りたいらしく、カンバを募る張り紙もありました。

「相変わらず汚い部室で安心した。早く報告を出してく」いう、最近卒業したらしい人の張り紙もあったので、相変わらず報告編集も遅れているのでしょうかね。

部員と話せたら、もっといろいろと紹介出来たかもしれません、取りあえず、新部室のご報告まで。

追伸) 仙台にいる3日間、白頭山に通いました。おばちゃんは、この春も風邪をこじらせて寝込んだらしいですが、会ったときは元気。「あつ、あつ、あつ」という笑い方も健在でした。ホワイトリガーの梅割の味も相変わらずです。
(^_-)

伊田浩之 tel.089-923-4473 26期
mailto:idah@ehime-np.co.jp

『山うなぎの会』(第34期同期会)発足

97年8/16,17 卒業3年目の我々は、なかなか実現しなかった同期山行を行いました。場所は中央アルプス。それはローファウエイがあるから、ではなく、同期の福と君が春から木曽駒ヶ岳上山荘で手伝つをしながら高山植物の研究を行っていたので、そこへみんなで集まろうというのかつきかけていた。

我々の代は入部当初から男12人で、卒業以来2年半ぶりに、北は仙台、西は鳥取、山口から1人の海外出張の者を除いて、11人か集まりました。

計画はローファウエイを上り下り共使うというものでした。しかし、中アまで一歩して、それだけではも、たぶんといふ仙台の4人は西横川の沢登りをしました。仙台組が頂上山荘へ着いた時にはもう皆出来上がったのを通り過ぎ、テントで寝ており、やはりつまみもほとんじやられていきました。

夜もかなり盛り上がり、福と君が我々のために50mlビールを20本くらい運んでくれていたのに涙が出ました。

同期会の名前を「山うなぎの会」と一見まとなるものに決まりました。一夜明けた後、1年後の山での再会を約束して、空木岳への未徒走、ローファウエイ駆へと別れました。

家に帰ってから、数日後の8/23朝、いつものようにトイレで朝日新聞を広げると、一面に大きくカラー写真で福と君の研究が紹介されているのには驚きました。#34期都築

今年は台風に2回会い、7月に会い、冬の雨に会い、それでもいつも1日はよい天気になります不思議な年でした。

正月：ハナ岳(イオウ、天狗)
3月：安達太良(山スキー)
5月：立山(山スキー)
6月：安達太良(台風)
8月：白馬大池→白馬(台風)
大雪ケイ通行止め
コース変更
9月：
立山→剣ヶ池→平→黒部
念願の裏剣
連日雨、予備日(池平)
も1日ガス、but 黒部
1=下る日の朝快晴、
翌日また雨
11月：燕岳(テントから顔を
出しても来光！)
12月：ハナ岳(赤岳)
雪少ない、夜に雨！
正月：南アルプス(薬師、観音)
佐藤拓哉・良子

11月8日9日上山温泉で同期会を開きました。卒業25年記念ということ、23名中16名の参加、紅一点の片岡さんも出席、大盛況でした。齊藤茂吉ゆかりの純和風旅館を貸切、温泉と手作りの料理を堪能、卒業以来はじめての顔ぶれの人もあり深夜まで語り合いました。翌日は上山城見学、山寺まで足を伸ばし、あと5年後の再会を楽しみ分かれました。さて、私はというと山には全然縁がなくなり、仕事仕事に追われています。流通環境が激変している中、会社の舵とりそして業容の変革に取り組んでいる毎日です。家内が音楽が好きなので、今年の4月自宅兼音楽ホールを建てました。音響もそれなりに工夫、個人のホールとしては東北ではあまりない、ユニークなものです。

月一回のペースで演奏会を開いています。

7期 大山幸則

大学を卒業してもう20年を過ぎ、山に行きたいといふ気持ちはあるもののなかなか…になつてきました。昨年は夏に雲の平から双六へ行き、新穗高温泉にあつたのであが、お盆という一番混む時期に山小屋に泊まることになつてしまい、空気の悪さに悶々苦悶しました。今年は恥ずかしながら行者小屋にお出で下さいました。でも、山に行くたびに学生の頃歩いた東北の山々の豊かさを改めて感じさせられます。

私は今、留学生に日本語を教える仕事をしています。授業の準備に追われ、この言葉とこの言葉の意味は違うのか、どうしてこう言うのかなどといふ学生の質問にたいていとなる毎日です。逆に学生から教わることも多く驚きと発見の連続です。そんなこんなで毎日を過ごしております。

来年にはもう少し山に行きたいと思っております。
50年卒 山口みどり 1997.12.10 草

高校の教員になって13年目です。昨年まで主顧問をやっていた先生が転勤になったので今年度からウンダーステラ部の主顧問になりました。山は年に数回、高校生をつれて行っています。今年の夏合宿(總高)でワンパターンのEssenに変化をつけようと、「イカ天」を伝授しました。なかなか好評で、こちらもなつかしい味を楽しみました。機会があれば自分の山もまた登ってみたいと思います。そのときはまたよろしくお願ひします。 松林隆幸

追記 10月に引越しました。新住所は春日井市高森台2-16-16 (0568)92-7508 です。

近況報告

昨年10月に日高山脈の茅室岳へ登った時の字夏です。たまたまこのように登つたります。銀婚式を迎え、子供達が就職や大学に入り家を離れ、又二人だけの生活となり日々の過ごしは早いものと感じてゐります。仕事はコンクリート製品の製造販売ですが、公共工事予算の削減やセブコンの信用不安等の環境は大変厳しくなつて來つたります。二人でゴルフをしたり、旅行をしたりして年をとつから捨てるなりけりに気をつけようがります。

お名前 上田俊朗 自宅電話 (011)562-2082

近況報告

体育用品に久しぶりに山へ(ときどきハイキングや散策です)行つてきました。天気もよしとお手頃の汗をかきません。他の山へはいって紅葉にはさすがにまだ余裕です。一箇所不満と思つていいところは、通勤で新潟方面のうち20分かけ山坂の道を歩いていますので疲れてしまつてしまふのでした。私にはまだと。

仕事、音楽、アートへの研究等が忙しく時間が立てづらくなっています。近くの明治大学で非常勤講師をしており、結構時間が取られています。まことに毎日が充実している感じです。妻と1歳の4人で、子供たちは学校生であります。一ヶ月にや二回、娘はおともでつづけています。

お名前 大不景正 自宅電話 0427-53-2330

我が家の近況を妻が保育園の新聞に投稿した文章でお知らせします。(手抜きかな?)

『今年の夏休みは、いよいよテントを購入し、父の念願だった"テントでキャンプ"を実行しました。まあ、「草薙」を見習つて、ブシキャンプ....といつても、寝室にテントを張つて、その中に寝袋で寝てみよう... というブシキャンプですが....この暑いのに....でも、お父さんと子供達はよく寝ていました。(私はその構造、布団で寝ました。)

そして8月。毎年のように訪れている福島県の磐梯山へ行き、キャンプです。昼間は、川で魚をついたり、夜はホタルを追いかけたり...、と楽しいひとときを過ごしてきました。夜中はものすごいカミナリと雨が降りましたが、子供たちはあでぐつすい。お父さんはケラケラと笑つて楽しめ、私は一人で恐ろしい思いをしていました。たつた一泊だけのテント生活でしたが、毎年少しあつ日数を増やして楽しみたいと思います。

(でも私は、やっぱり1フトンが一番!!)

昭和57年卒 坂本 務

近況報告

大変ご無沙汰しております。小生 広島支店から東北支店に転勤になってから、はや20年以上が経ちました。新幹線の高架橋やロックフィルダムや原子力施設等の建設に携わっていましたが、5年前から支店土木部に籍を置き、技術営業を担当しています。最近は公共工事不景気やコストダウンの嵐が吹き荒れて、お先真っ暗で困ったものです。

5年前から頼まれて、東北学院大学の非常勤講師を前期だけしています。「施工技術」という講義ですが、学生の耳と目をこちらに引きつけることの難しさを痛感しています。少しでも学生達が土木に興味を増してくれるよう、知恵を絞ってやっています。

2年前 生まれた中国へ始めて行きました。黄土色のスケールの大きい黄河と長江の流れ、ひたむきに生きる中国人達を目の当たりにして、激しいカルチャーショックを受けました。日々の忙しさにかまけて慢性的な毎日を送っている自分に、電気ショックを与えるために、これからも、時々海外旅行をしたいものです。

お名前 真尾征雄

自宅電話 022-378-8022

ペペロンチーノの食べ過ぎが原因で太り気味になったので、今年の5月からダイエットを始めました。やっと約4キロ減、体型はともかく体重だけは学生時代に戻りました。昔から食べることが好きだったので減量は大変でしたが、現在はリバウンドを注意しながら調整中です。久しぶりに皆様に会えることを期待しています。

平成 9年 9月

五十嵐 勝和

近況報告

昨年1月より大阪に単身赴任中です。(2度目)
住友金属工業・関連会社と統合し、新しく住友金属機械となり
10月1日に発足しました。新会社に移る準備を終えました。
新会社でも勤務地は大阪なので、引続き単身で予定です。
在阪も2年で4年近くになります。東北と東京と関西とを往復
に(?) 痛み付いています。
甲子園に住んでいますが、休日は六甲山に行く出歩けます。
加藤丈太郎にあやかられて、1月ごと単独行(本当は一箇所行く
人が居ないだけと言う事もあります)
専ら一眼レフと健康のためであります。倉庫から行く事もあります。

お名前 山口 正雄

自宅電話 0471-33-5230

近況報告

老眼でエネルギーベルの低下に悩まつつ、仕事を続けています。
三ヶ月前、一人暮らし 大学生になって仙台へ引っ越し。今年の夏は主人と一緒に車を手に入れました。少し身軽になりましたが、今日は車を運転する車を手に入れなくて困ります。車を手に入れたばかりとなりました。仕事は12月までで、今は車で毎日通勤で、毎日を追いかけています。週1回、小岩井農場の近くの畠に行き野菜作りを始め、土耕栽培を始めました。今年の収穫量は最高でした。今後は、"写真"に挑戦する予定です。

お名前 矢後(今木) 幸子 自宅電話 019-623-9308

近況報告

昨年の夏、30年憧れでいた尾瀬沼へ、トラベルツアーパーに参加しました。それ以来、昨年3回、今年2回行っています。カリハマテます。10月19日に栗駒山に行きました。紅葉は終って、雪の中を途中まで登りました。雪裏を撮り始めて15年位になります。今回も現役の噴の写真はスライドで見て下さいます。私の最近の写真は少々古いです。

お名前 手戸 雅巳

自宅電話 0903(34)1750

近況報告

前回の同期会で意外だったことは登山姿で参加した者は私一人しかいなかったことです。会社の山仲間と登山歩きは続けており、今年頃はヒマセラフ島へ行きました。しかし登山道は一晩で1500m下るため、腰が抜けてしまい、今後の山行には黄信号が実行しています。数年前から風景写真を撮り始めたり、取扱いのRV車を購入し、休日には車中泊で日出をねらっています。仕事は半導体応用部の品質保証業務を担当していますが、環境関連国際規格(ISO14001)の認証取得をめざして、システム作りに没頭しております。21世紀は人口・食糧・南北問題等のkey wordであります。これらはすべて地球環境に深刻な影響を与えます。飽く迄欲求を抱きながら最後の世代(?)ある城乡の方に向かっていざと尾崎。

お名前 山岸 正和

自宅電話 0276-38-1422

近況報告

自転車が盗まれました。29年田舎で生活して、今もまだあります。まだ車では、薄いカーテンが、運動不足のままになってしまった。車の可動部が壊れ、車は自走せず、前に倒れ土日は天気を見てから出かけたり3ヶ月ぶりで走りました。2年半程前からは大型荷物を抱え、車には同行会で作例会でしてます。近頃やさと型になってしまっています。今年は中陰に地獄です。山行は、地理的に近いからか、御迷惑致しますが、少しつぶんが頑張っています。新年新たに靴を新調して、園内散歩を始めました。毎日2~3日は自転車で、やさぎ!!

お名前 原 三郎

自宅電話 0299-172-1360

近況報告

浅向山の麓の御代用店で販売を2年やめた後、8年3月から検査部に勤務しています。そのため単身赴任が2年半続いています。仕事柄、支店へ出向いていた期間が長い、長野の寮からの通勤、長野の自宅への通勤、ホテルからの通勤と換わります。それに伴う宿泊費といふところです。不景氣時に端を絞った銀河の経営悪化に伴いつていますが、おかげ様でバーグは、ますますお客様内容・実績と上昇が見られます。もう一度、支店にて、そこで銀行員生活が終ると、年金に近づくようになりました。それまで健常な気持つきで、朝一杯朝鮮たいと焼きそば。

お名前 天崎 太道

自宅電話 0266-72-7805

近況報告

相馬市で元々毎日で泳げていました。最近は、年令で若く、後ろ泳者のことを学び、有利に仕事をしている。夏は、やっぱり散歩です。ゴールデンの水辺(200mくらい)まで歩いています。普段は、温泉街の人を呼んで、コンサートをやっています。ミニ夏祭りで、ついで子供たちが生活を心がけています。

お名前 大山 実昌

自宅電話 0234-31-5431

近況報告

娘2人も卒業し、一段落というところです。が、相次ぐ「工場勤務」で、不景気と競争激化の中で、毎日つぶてです。

お名前 松山 真一

自宅電話 045(302)8631

近況報告

力古尾→海外(ケニアアビア)→広島→東京→仙台と移動し、仙台勤務も早や7年になります。2年前に三菱電機から向かって南進会社の東北営業所勤務です。エレベーター、エスカレーターの仕事に変わりはありません。最近は老人対応のホームエレベーターが急増しています。皆さんも如何ですか。

休日には①ゴルフ②園芸③花の写真④山なども楽しんでいますが、いずれも中途半端。国分町通いですが、毎週欠かせませんが、これは仕事です。

二本松の実家も住人無くなり、以下の仙台・二本松・伊勢(家の故郷)を移動しながら、四季の風景を写したり、カレンダーづくりに取り組みます。

お名前 国岡 徹郎 自宅電話 022-377-0161

近況報告

先づ転勤もありましたから、現在は二年位は東京へ勤めています。仕事は技術開発部内にPEI、石膏ガス化装置や燃焼炉の開発の開発にかかります。卒業後は今は火薬山やスキー場、T472-500等と生来の不精土故、今は運動と云は、ゴルフ練習場でよく遊びます。前回9月明治神宮で、今度は是が参加し、久々に会うことを楽しみにしています。また、高麗の山々を自分で3ヶ月準備してきました。幹事長として頑張ります。

お名前 篠谷清 自宅電話 0436-65-7314

近況報告

7月1日より、NKK新潟支社から土木建築用機械製造X-erの関連会社に勤務し、通勤時間片道30分新潟生活から片道2時間の東京・横浜生活に慣れて、努力して過ごしてます。土日はグリルで家に居る仕事。强度は運動とか散歩とか、身体の衰えこれが想ひてます。実行から出来ないのが難点。しかし車、単身赴任から家族持ち我が家では生活が再び始まり、別の意味で忙しくてます。再会を夢見てます。

お名前 高橋直樹 自宅電話 045-891-9430

近況報告

毎日、仕事を追いかけて全く山へ登る、从来没有。海外出張も珍しく、年を越して今頃です。

お名前 藤森英和 (株)0425-86-3836(FAX) 自宅電話 0263-58-1717

近況報告

体力もよくなり、また温泉と自然観察をしてます。

お名前 遠昌司 自宅電話 0492-46-1155

近況報告

7年経過し、東北大企研で研究室の手伝いなどあります。9/23(土)、快晴、栗駒に登りました。いつかから平から登子77歳。帰り世界各地に寄りましたが、ほとんど花はありませんでした。羊蹄山の山頂まで歩く腰が陽焼けてしましました。

セントポーリアヤインハイクスを育ててあります。恵湯の茶道部でお茶などやりとります。年10回位かな。なかなか自分に行きません。

矢後素子さんのみ丈さんの富士の良いことを語り、彼女に会うのを楽しみにしています。

お名前 八重樋 信子 自宅電話 022-278-8226

近況報告

現在は在宅で、禁煙して禁煙本を読む日々。
下痢で食欲がない。
この10日で十分な1ヶ月、仕事も、技術→開発技術
→営業と変わらぬものがあり、進行する事はいい
外は一ヶ月は仕事で、それが太刀原塩田に寄つて
取の付けて、長い間ひたすら、うつ病を抱えていた
が、治療なし、西洋に留学してから、先行する方々
達の中国語を、言いたいがままに何事も叶えようと
日々と歩み、歩みながら歩みながら歩みながら
"心臓ニテニ"トドキ美能な歩みを歩みます。
10月、高崎にて、日本技術革新院にて天野、小保井が引退
式典

お名前 金子清敏 自宅電話 048-642-0630

近況報告

当社に所属で参加アドミテさん、ほいとうにスリ振りに皆様
に不快感いたしましたので、非常に残念でござります。
小生は島根の福山にて26年目の單身赴任生活下
向してあります。明年から長年勤務したNKKからの現任
の会社にて勤めます。
仙台に約2年前購入した自転車の盗難への対応秋田へ帰省
した際、帰りに立ち、長府で迷いました。
石澤正見さんと懇親があり、お手助けしてもらいました。
多分に隣の川で"153"。

お名前 斎藤洋三 自宅電話 0809-27-5296

近況報告

・尼化を肉腫由で完結せず30代で「脳」、40代の「頭
髪」、そして50代「目」が抜け、ついで統計で手、足、小
児が人並み年齢で完結し、今日20歳です。
・甲状腺癌で肺移植手術。2017年9月遠隔治療にて、昨年、
学院の理学、体力小学校の初年度、1年生、水
泳は魚の氣泡で泳ぎました。
・若さを保つには「運動」&「食生活」です。肝心な
運動は何かです。

お名前 高橋晴也 自宅電話 028(624)1583



夕方、紅く染まる立山を目の前にして言葉なし。

一、越後スキー庄子ホリ、雄山へ。連日夜は雨が降り、朝は不思議と晴れた。



去年の冬、水彩絵具でスケッチをしていたら、筆先がカサカサ音がする。初め何なのか分らなかった。凍っていたのである。ちょっと考えれば「当然」。

以来、冬は小さなスケッチブックにペンでガマンしている。 8期 佐藤

新年会のお知らせ

新年会は毎年1月の最終金曜日にいつもの所で行っています。

平成10年1月30日(金) 18:30

新橋駅のすぐ近くにある新橋亭(しんきょうてい)

会費は10,000円の予定

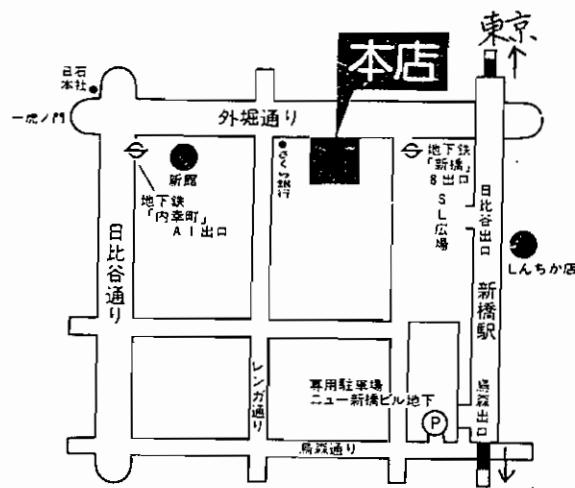
皆さんお誘いの上ご出席下さい。特に若い人の出席は大歓迎です。遠くの方でも、東京に出張などで来るような場合には、ぜひ出席して下さい。飛び込み大歓迎です。反対に、出席ということになっているのに、当日欠席される方も結構います。これは本当に幹事泣かせです。予定が変わった時は、早めにご連絡下さい。

問い合わせ、連絡先 佐藤拓哉 Tel 0468-41-8622

平成9年新年会出席者

(S39) 小俣勝男、岡好宗、後藤龍男、佐藤敦、
松木功 (S40) 小原佑一、島崎質、白井洋行、
緑川学、八木正昭 (S41) 相沢宏保、桜洋一郎、
佐藤豊治、渋川尚武、瀬尾勝之、藤田凱巳、横山雄一郎
(S42) 加藤邦明 (S43) 五十嵐惇和、大木芳正
金子清敏、藤森英和、村山貞一、上田俊郎&お嬢さん
(S44) 佐藤拓哉、濱聰、三日月道夫
(S45) 富川正夫、今井和子 (S46) 甲斐利春、
田中康則 (S47) 秋田修 (S48) 藤田真利子、
神山文範 (S55) 石川重年 (S58) 利根川敏

以上37名



ご予約・お問合せは

☎ (03)3580-7811

今回は出席予定の連絡を受けていた方で、何の連絡もなしに
欠席した方が10人いました。これだけは『カンペーン』して下さい。

平成8年1月～12月会計報告(東京口座)

収入	
繰越金	483,893
O B 会費	46,000
利 息	417
計	530,310

支出

会報N027	44,463
近況報告等	6,737
事務通信費	8,800
次年度繰越	470,310
計	530,310

★★ 編集後記 ★★

◇会報28号をお届けします。毎年どこかで同期会が開かれているようですが、事務局にはなかなか情報が入ってきません。同期会の様子をぜひO B会報に載せたいと思います。同期会の幹事の仕事の一つとして、「同期会の様子を事務局に知らせる」ということを追加して下さい。もちろん、誰かを指名していただいても結構です。

◇近況報告を何人かの方にお願いしていますが、近況を送って下さるのは、いつも1/3程度です。「忘れる前にポストへ」よろしくお願ひします。今回、第7期の同期会関係の手紙や出欠の連絡票を金子さんからいただいて載せました。

◇年会費は1000円です。1ページ目の口座に振り振り込んで下さい。数年前の新年会から集めるのを止めました。

皆さん、ご協力お願ひいたします。